

滝沢市地域公共交通網形成計画【概要版】

(素 案)

平成29年3月

1 . 策定の趣旨

本市ではJR田沢湖線、IGRいわて銀河鉄道線、民間路線バス3社、市営の福祉バス及び患者輸送バス、その他タクシー事業者等、複数の交通サービスが運行しています。

しかしながら、人口減少、少子高齢化、マイカー依存などに伴い、公共交通利用者は減少傾向にあり、地域の移動手段として公共交通を維持・確保することが非常に困難になっており、公共交通ネットワークの見直し・再編が必要な状況です。こうした背景を踏まえ、将来にわたり持続可能で地域にとって望ましい公共交通ネットワークを構築するため、まちづくりと連携した公共交通の基本的な方針と施策体系を示す「滝沢市地域公共交通網形成計画」を策定します。

2 . 滝沢市の公共交通における課題

既存データ等による現況の整理や各種調査の実施により、本市の地域特性及び公共交通の実態を把握し、本市の公共交通における課題を下記の7つに整理しました。

滝沢市の公共交通における7つの課題

課題1 市制移行・まちづくりと整合を図った交通体系の見直し・再構築	<ul style="list-style-type: none">■ 中心市街地としての機能向上が図られ、移動ニーズ増加が想定される中で、市役所周辺への移動は乗り継ぎを要する地区が多く、アクセス性が低い状況。■ 市役所周辺と盛岡市隣接部の人口が集中する複数間を繋ぎ、まちづくりの方向性と整合を図ったネットワーク形成を検討する必要。■ 路線バスの3事業者の、将来的な共同運行の可能性について協議・調整が必要。
課題2 高齢化・免許返納者への対応及び若年層へのサービスが不十分	<ul style="list-style-type: none">■ 高齢化により外出を控える方の発生が想定され、健康面での影響が懸念される。■ 現行の公共交通関連福祉の対象に含まれない高齢者層への対応が希薄。■ 免許返納者の増加等を含め、自由な移動が制限される方が増加見込みにある中で、高齢者の外出支援、健康増進に向けた取り組みの検討が必要。■ 大学生を含めた転入者等を公共交通利用者に取り込むため、案内・周知が必要。
課題3 既存幹線軸ルートにおける渋滞の発生による定時性の低下	<ul style="list-style-type: none">■ 朝ピーク時等における交通混雑・渋滞の発生により、路線バスの遅延等の要因となる等、定時性が確保されず、サービス低下の要因となり得る。■ 公共交通のサービス低下、人口減少により、公共交通の利用離れの加速が懸念。■ 通勤時等に公共交通を利用する仕掛けをつくり、サービス水準の確保を図るとともに、新たな利用者層を取り込み、公共交通利用率の向上等を検討する必要。
課題4 地域公共交通のサービス水準の不均衡・地域内格差が発生	<ul style="list-style-type: none">■ 居住環境により、市街地や盛岡市等へのアクセシビリティに格差が生じている。■ 安心して快適に暮らし続ける上でアクセシビリティの格差是正は必要な検討項目であり、人口減少・少子高齢化等の変化も踏まえ、地域ごとでの対応が必要。■ 小さな移動ニーズが広く分布する市西部エリアにおいては、定時定路線型の大量輸送の交通は適しておらず、地域特性に見合った交通サービスの検討が必要。
課題5 市内の各交通モードが有機的に繋がっておらず利用者ニーズとマッチ	<ul style="list-style-type: none">■ 路線バスの定時性や運行本数の増減等により、乗り継ぎ時間が長時間化。■ 人の移動が多い時間帯は、スムーズに乗り継ぎができるダイヤ調整を図る。■ 待ち合い環境が現状ニーズに対応し切れていない。■ 新たな施設の立地に伴う流動の変化により、交通結節機能の設置の考え方等を、公共交通ネットワークの再編を踏まえて、改めて検討する必要。
課題6 公共交通の利用方法が分からない等、情報提供・案内が不十分	<ul style="list-style-type: none">■ 公共交通の案内・情報発信等や周知・PRが不足している。■ 複数の交通モードが運行する本市において、それぞれがどのように運行し、どのように利用すれば目的地に行けるか等の丁寧な案内等が必要。■ 案内・情報発信等の充実により公共交通利用に転換すると想定される市民は約2,500人であり、ソフト面での取り組みによる利用促進が必要。
課題7 観光振興・健康増進等の各施策・事業との連携が不十分	<ul style="list-style-type: none">■ 自然観光拠点においては、観光二次交通の導入等の、公共交通との連携はほとんど無く、公共交通による移動手段が確保されていない。■ 観光と連携したソフト面での事業展開を検討する必要。■ 高齢者を中心とした健康推進等において、公共交通を活用した外出支援等と連携して施策展開を行い、相乗的な効果の発現を図ることが重要。

課題解決に向けた方針・基本目標・プロジェクト

3. 滝沢市が目指す公共交通の将来像

本市の公共交通における現状と課題を踏まえ、将来的に持続可能な公共交通の維持・確保に向け、本計画における基本方針（目指す公共交通の将来像）を定めます。

基本方針

誰もが幸福を実感できる暮らしを支え、住民とともに考え・育む公共交通
～将来のまちの姿・あり方を見据え、まちづくりと連携し「コンパクト+ネットワーク」を実現～

基本目標

基本目標 1
新市の「まちづくり」を支える新たな交通網の形成

施策の方向性

- 広域幹線軸・地域間幹線軸の維持・確保
- 地域内連携を見据えたネットワークの形成
- まちづくり・観光と連携した施策展開

基本目標 2
誰でも・いつでも安心して利用できる交通環境の構築

施策の方向性

- 公共交通における情報発信等の充実
- 交通拠点等における交通環境の改善
- バス停環境の改善

基本目標 3
地域に応じた公平・高品質な交通サービスの提供

施策の方向性

- 地域特性に応じた交通サービスの提供
- 交通弱者の外出支援
- 運賃システムの改善

基本目標 4
市民協働による持続可能な交通の仕組みづくり

施策の方向性

- 公共交通に対する住民意識の醸成
- 地域主体の公共交通維持に向けた活動支援
- 多様な主体と連携した取り組みの展開

プロジェクト・施策

1. 公共交通の利便性向上プロジェクト

施策 1-1 地域間幹線軸の品質・サービス向上

- ① 市内主要拠点と盛岡市を結ぶ路線バスのサービス充実
- ② 居住環境の変化に合わせた経路の見直し

施策 1-2 市内移動における利便性向上

- ① 市内主要拠点を結ぶ地域内交通の検討
- ② 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討

2. 公共交通の認知度向上プロジェクト

施策 2-1 情報発信による認知度向上

- ① 公共交通の案内・情報発信ツールの作成
- ② スマートフォン等を活用した情報発信

施策 2-2 イベント実施等による認知度向上

- ① 学生・高齢者を対象とした乗り方教室等の開催
- ② パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施

3. 公共交通の環境改善プロジェクト

施策 3-1 交通拠点整備による利便性向上

- ① 主要拠点の交通結節機能の強化・待合い環境の改善
- ② 多言語化・カブリ等のわかりやすい案内・標識へ改善

施策 3-2 利用しやすい交通体系の構築

- ① 免許返納者に対する交通施策の展開
- ② 乗り換え・乗り継ぎがしやすい運行ダイヤへ改善

4. 多様な主体と連携・協働プロジェクト

施策 4-1 市民の公共交通に対する意識醸成

- ① 地域の移動手段を考える意見交換会等の開催
- ② 地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの検討

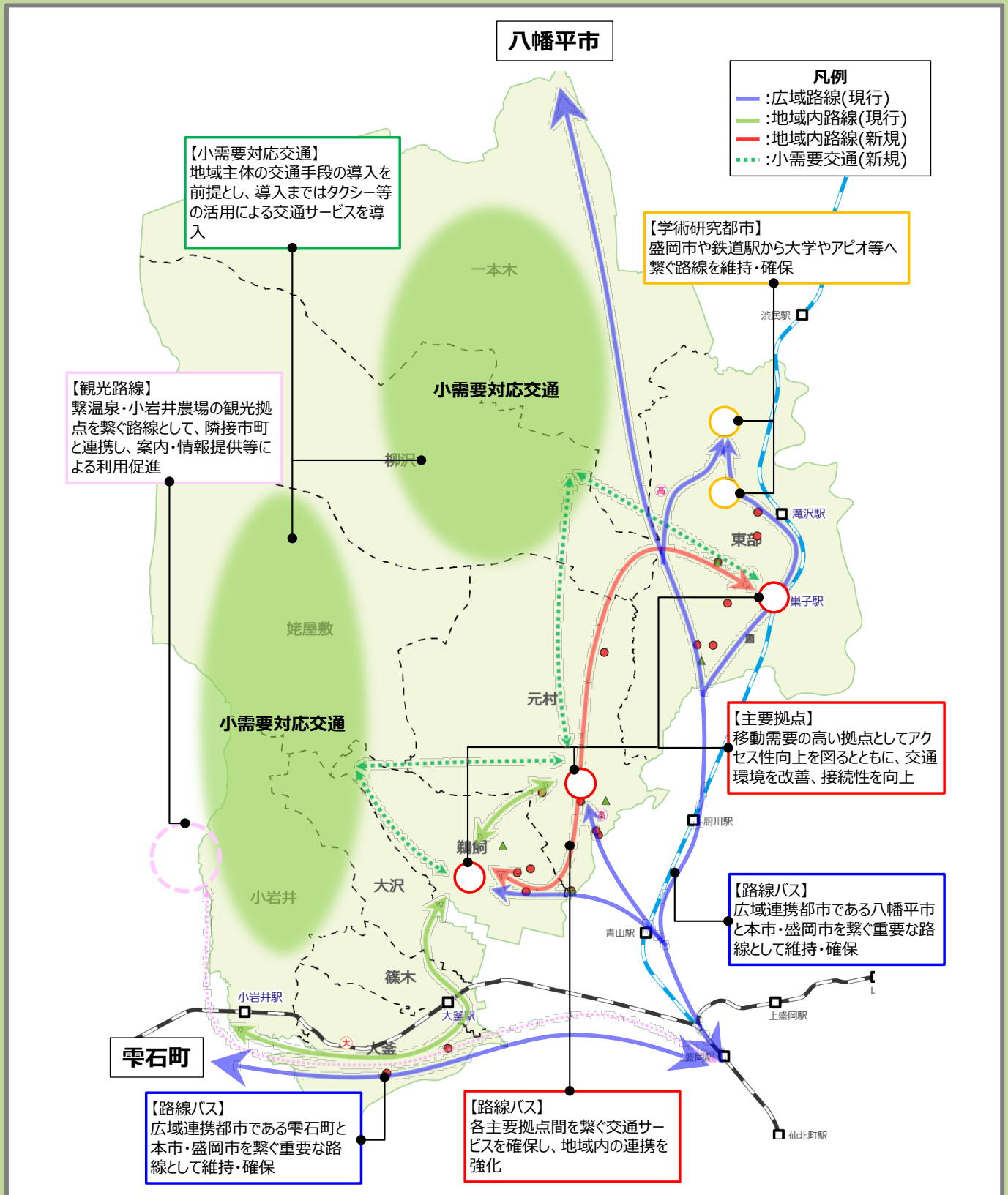
施策 4-2 協働・連携による体制づくり

- ① 大学と連携した公共交通施策の展開
- ② モビリティマネジメントの推進
- ③ 交通事業者のドライバー確保に向けた取り組みの実施

交通ネットワークの将来イメージ

【将来イメージを検討する上での基本的な考え方】

1. 広域連携都市圏の一部を担う市として盛岡市との連携を確保
2. 移動需要の高い拠点を主要拠点として設定し機能を強化
3. 中山間地からは各主要拠点まで繋ぐ交通手段を確保
4. 中心市街地の活性化及びまちづくりとの整合に向け拠点間の連携を強化



4. 目標の達成するための施策・事業

基本方針及び公共交通の将来像の実現、基本目標の達成に向けて、市民・交通事業者・行政等の各主体が連携し、施策・事業を展開・実施します。

1. 公共交通の利便性向上プロジェクト

施策 1-1 地域間幹線軸の品質・サービス向上

- ① 市内主要拠点と盛岡市を結ぶ路線バスのサービス充実
- ② 居住環境の変化に合わせた経路の見直し

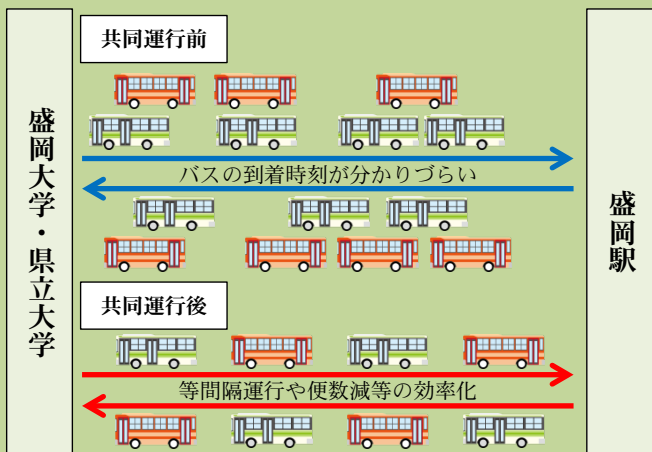
実施主体：滝沢市・交通事業者

■市内主要拠点と盛岡市を結ぶ路線バスのサービス充実

- 地域間幹線軸のサービス向上に向けて、主要な2事業者（岩手県交通・岩手県北自動車）の将来的な共同運行の可能性について協議・検討する。

■居住環境の変化に合わせた経路の見直し

- 市役所付近を経由するように、路線バスの経路の見直しを図る。
- 転入等による居住環境の変化に合わせ、経路の見直しを図る。



▲共同運行のイメージ図



▲市役所付近への経由イメージ

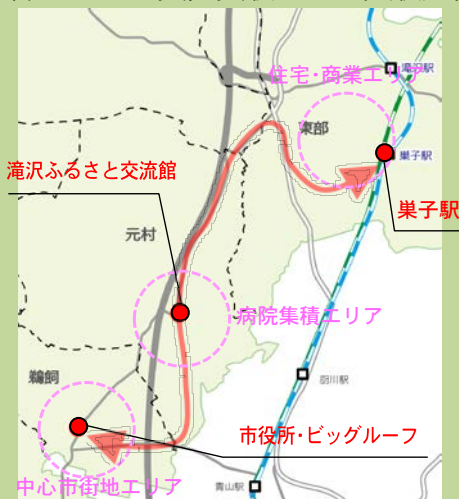
施策 1-2 市内移動における利便性向上

- ① 市内主要拠点を結ぶ地域内交通の検討
- ② 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討

実施主体：滝沢市・交通事業者

■市内主要拠点を結ぶ地域内交通の検討

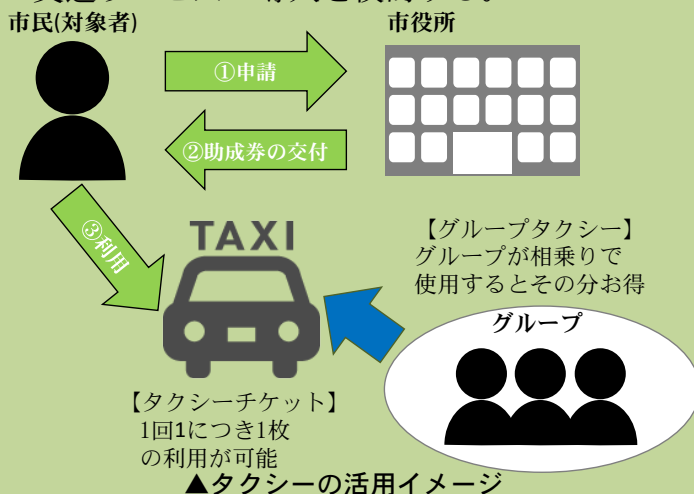
- 巣子付近・滝沢ふるさと交流館付近・滝沢市役所付近を繋ぐ地域内交通サービスの導入を検討する。
- 導入に際しては、実証実験による試験運行を行う。



▲地域内交通の導入イメージ

■小さな交通需要に対応した交通サービスの検討

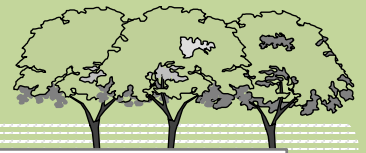
- 小さな交通需要が広い地域に分散する地域において、福祉バス等の交通サービスに見直しをかけ、既存の交通資源を活用し、効率的な交通サービスの導入を検討する。



【タクシーチケット】
1回につき1枚
の利用が可能

▲タクシーの活用イメージ

2. 公共交通の認知度向上プロジェクト



施策2-1 情報発信による認知度向上

- ① 公共交通の案内・情報発信ツールの作成
- ② スマートフォン等を活用した情報発信

実施主体：滝沢市・交通事業者

■公共交通の案内・情報発信ツールの作成

- ・公共交通マップの改善等を含めた、転入者向けの公共交通の案内ツールを作成する。
- ・市報への掲載を継続するとともに、回覧等による公共交通の案内掲載・情報発信を行う。



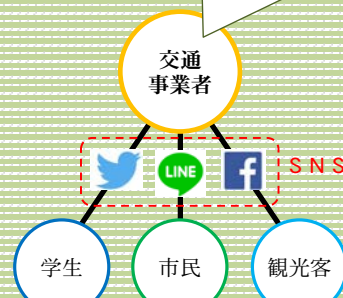
▲本市のバスマップ

▲市報のコラム

■スマートフォン等を活用した情報発信

- ・SNS・QRコード・バスロケーションシステム等の活用を含めた情報発信の検討を行う。
- ・アプリ「滝沢ナビ」を活用し、公共交通に関する案内・情報の発信を行う。

SNS等を活用し、運行・運休情報等のリアルタイムの情報発信・提供が可能



▲SNSの活用イメージ



▲滝沢ナビの活用

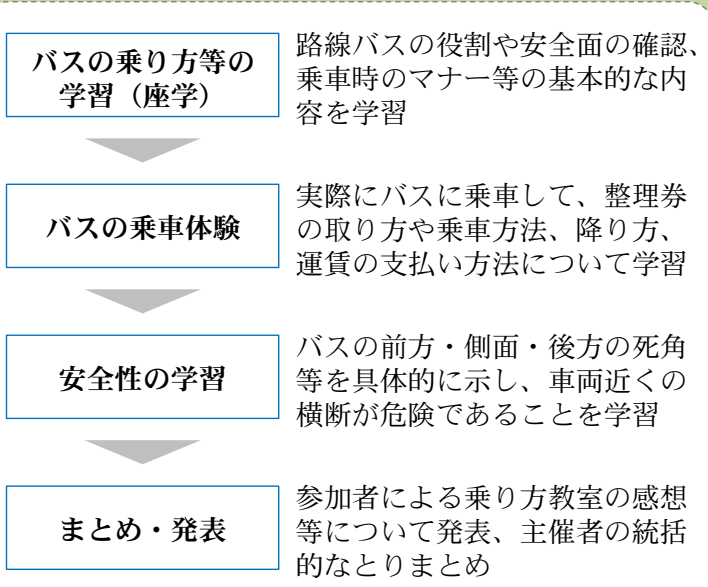
施策2-2 イベント実施等による認知度向上

- ① 学生・高齢者を対象とした乗り方教室等の開催
- ② パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施

実施主体：滝沢市・交通事業者

■学生・高齢者を対象とした乗り方教室等の開催

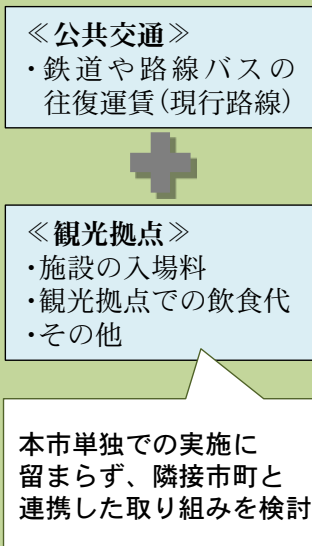
- ・公共交通の認知度向上や潜在的なニーズ層の利用への転換を目的とし、バスの乗り方教室を実施する。



▲乗り方教室のプログラムイメージ

■パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施

- ・公共交通と観光・商業等がタイアップし、魅力的な商品等の企画で、新たな利用者層を獲得する。
- ・観光と連携したバスパックや商業と連携した企画乗車券等、各主体と連携した取り組みを展開する。



本市単独での実施に留まらず、隣接市町と連携した取り組みを検討

▲観光パッケージ企画のイメージ



3. 公共交通の環境改善プロジェクト

施策3-1 交通拠点整備による利便性向上

- ① 主要拠点の交通環境の強化・待合い環境の改善
- ② 多言語化・カラーリング等のわかりやすい案内・標識へ改善

実施主体：滝沢市・交通事業者

■主要拠点の交通環境の強化・待合い環境の改善

- ・待合い環境の改善や簡易的なバスロケーションシステム・バス接近情報の設置を検討する。
- ・鉄道駅において、待合い環境の構築やパークアンドライドの推進を図る。

●パークアンドライドとは
最寄り駅まで自動車を用い、駅付近の駐車場に駐車し、そこから鉄道や路線バス等の公共交通を利用する方法。定時性が確保されるとともに、環境にやさしい手法として推進される。



資料：仙台市交通局

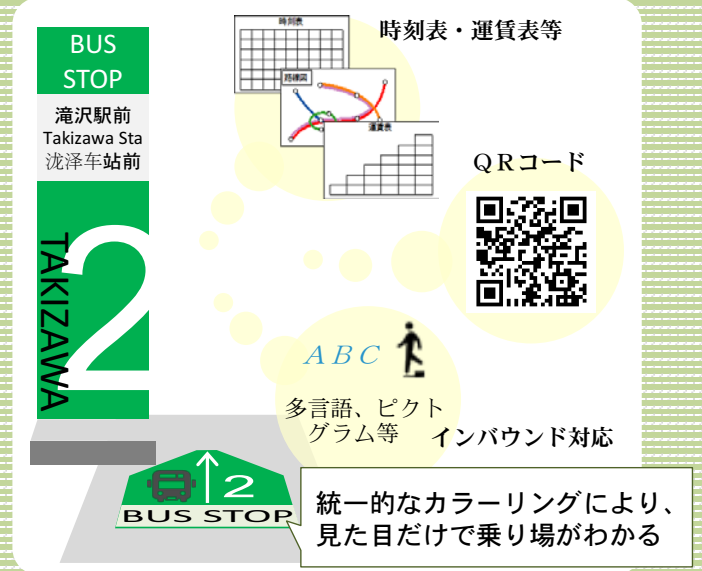
▲バスの接近情報



▲パークアンドライド

■多言語化・カラーリング等のわかりやすい案内・標識へ改善

- ・鉄道駅を中心としたバス停において、多言語化を含めた案内・情報発信の強化を図るとともに、統一的なカラーリングによるわかりやすさの改善を図る。



▲バス停における情報発信イメージ

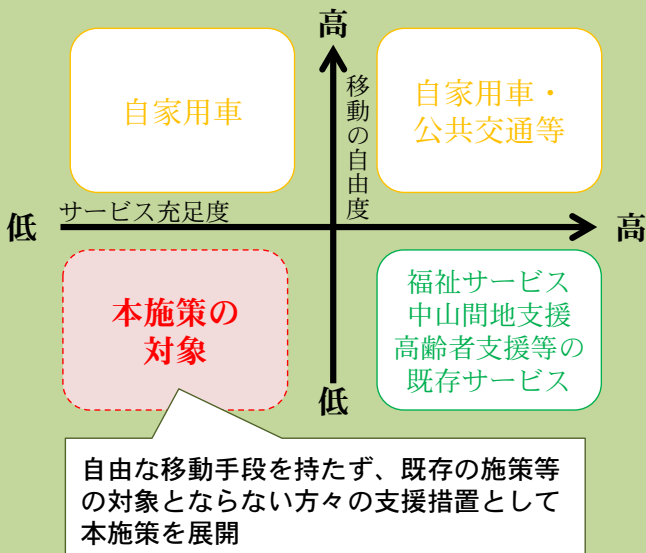
施策3-2 利用しやすい交通体系の構築

- ① 交通弱者に対する交通施策の展開
- ② 乗り換え・乗り継ぎがしやすい運行ダイヤへ改善

実施主体：滝沢市・交通事業者

■交通弱者に対する交通施策の展開

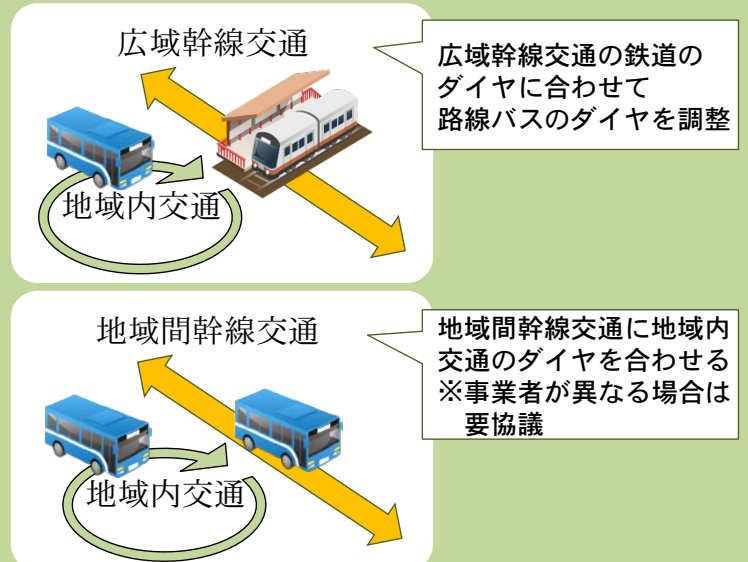
- ・高齢者や免許返納者、妊娠している方等の、自由な移動が制限された交通弱者を対象に、公共交通の助成・割引等の支援を検討する。



▲交通弱者に対する交通施策の展開イメージ

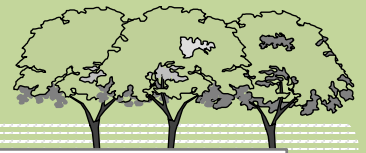
■乗り換え・乗り継ぎがしやすい運行ダイヤへ改善

- ・鉄道ダイヤや路線バス同士の接続時間を考慮し、路線バスのダイヤを改善する。
- ・見直しの対象は朝夕の通勤・通学時間帯を中心とし、交通事業者と協議・調整を行う。



▲交通機関同士のダイヤ調整のイメージ

4. 多様な主体と連携・協働プロジェクト



施策4-1 市民の公共交通に対する意識醸成

- ① 地域の移動手段を考える意見交換会の開催
- ② 地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの検討

実施主体：滝沢市・市民

■地域の移動手段を考える意見交換会の開催

- ・市民の公共交通に対する意識醸成及び意見・要望の把握のため、意見交換会を開催する。
- ・一過性のものとならないよう、意見・意向を把握する仕組みづくりを確立する。



各地域における公共交通の利用実態や意見・意向等を把握するとともに、公共交通について一緒に考え、市民における意識情勢を図る

▲意見交換会の開催イメージ

■地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの検討

- ・地域主体の公共交通の維持・確保に向けて、会議・集会を開催する。
- ・モデル地域として先行実施する地域を設定し、その後の多角的な展開を図る。

意見交換会等の実施

- ・各地域や自治会等を対象として意見交換会を開催
- ・公共交通に対する市民意識の醸成を図るとともに、地域主体で実施可能な取り組みについて、地域ごとで考える
- ・年に1回以上等の定期的な開催を目指す

モデル地域の設定

- ・地域ごとの意識醸成のレベルを踏まえ、地域主体の取り組みが実施可能なモデル地域を選定
- ・当該地域において優先的に取り組みの展開を支援
- ・他地域においては、引き続き公共交通に対する意識醸成を図る

他地域への展開

- ・モデル地域における取り組みの効果測定等を実施し、必要に応じて見直し・改善を図る
- ・当地域における取り組みの事例・ノウハウを活用し、他地域において展開
- ・各地域の特性に応じた内容に適宜修正し対応

▲地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの流れ

施策4-2 協働・連携による体制づくり

- ① 大学と連携した公共交通施策の展開
- ② モビリティマネジメントの推進
- ③ 交通事業者のドライバー確保に向けた取り組みの実施

実施主体：滝沢市・交通事業者、市内大学

■大学と連携した公共交通施策の展開

- ・岩手県立大学・盛岡大学と連携し、公共交通利用促進に向けた取り組みを検討。
- ・大学生がイベント等を企画・プレゼンし、採用された企画を行政・事業者と連携し実施する。

ワークショップの開催

公共交通の現状を踏まえ、利用促進や環境改善に向けた取り組み内容を検討



プレゼンテーション

学生が中心となり考えた取り組みや企画を行政・交通事業者にプレゼン



取り組み・イベントの実施

採用された企画を大学生が中心となり、取り組み・イベント等を実施



▲大学と連携した取り組みのイメージ

■モビリティマネジメントの推進

- ・滝沢市役所の職員によるノーマイカーデーの設定や盛岡市方面への出張の際の路線バス利用を推進する。
- ・市内企業におけるエコ通勤を推進する。



▲ノーマイカーデーの実施イメージ

■交通事業者のドライバー確保に向けた取り組みの推進

- ・ドライバー等の人材不足が喫緊の課題である交通事業者の人材確保に向けて、交通事業者だけではなく行政も含めた協力体制の下、取り組みを実施する。

現在、交通事業者におけるドライバー等の人事不足が深刻な問題となっており、新規路線整備や便数拡充等のサービス向上を行いたくても、人員が足りず、サービスの縮小を余儀なくされているケースが多く発生している。

交通サービスの拡充、利便性の向上、利用者の拡大を図る上で、ドライバーを確保し事業者の体制を整えることが必要であり、行政も積極的に関与した取り組みの実施を検討する。

▲ドライバー確保に向けた取り組みのイメージ

5. 基本目標の達成をはかる指標・数値目標の設定

施策・事業の実施により基本目標の達成度合いをはかるため、指標及び数値目標を設定します。数値目標については、計画終了年度の平成33年度における達成を目標とし、途中年度におけるモニタリング等の実施により、事業の進捗管理を行います。

指標・数値目標

基本目標	指標	現況値	目標値 (H33)
《基本目標1》 新市の「まちづくり」を支える新たな交通網の形成	公共交通が便利で利用しやすいと思っている人の割合	35.1%	37.5%
	乗り換え・乗り継ぎに対する満足度	9.7%	12.0%
《基本目標2》 誰でも・いつでも安心して利用できる交通環境の構築	案内等の情報発信方法に対する満足度	16.2%	20.0%
	停留所・待合所の快適性に対する満足度	14.5%	20.0%
《基本目標3》 地域に応じた公平・高品質な交通サービスの提供	市民における公共交通の利用割合	28.3%	30.0%
	外出時の公共交通の利用割合	20.3%	23.0%
《基本目標4》 市民協働による持続可能な交通の仕組みづくり	各主体と連携した交通サービスの実施件数	0件	3件
	地域主体の公共交通維持に向けた取り組み件数	0件	3件

6. 計画の期間と推進体制

本計画は平成29年度から平成33年度までの5年間を計画期間として設定し、上位計画である「第1次滝沢市総合計画」が後期計画へ移行する年度において、計画の見直し・モニタリングを実施します。また、本計画については市民や交通事業者、国・県・市により構成される公共交通会議において事業の進捗管理及び効果測定等の管理を行うとともに、各主体との連携により着実な事業の実施をはかります。

計画の期間

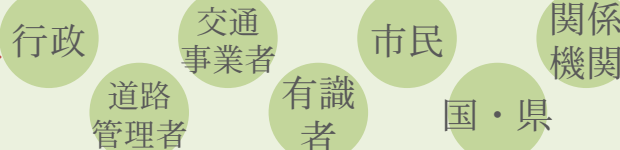
項目	H29	H30	H31	H32	H33	H34
第1次滝沢市総合計画	第1次滝沢市総合計画 前期計画 (H27~H30)			第1次滝沢市総合計画 基本構想 (H27~H34)		
				第1次滝沢市総合計画 後期計画 (H31~H34)		
滝沢市地域公共交通網形成計画	滝沢市地域公共交通網形成計画 (H29~H33)					次期計画
		計画見直し				計画改定

推進体制

各分野の団体・企業

まちづくり
商業・観光
健康・福祉

滝沢市地域公共交通会議



関係団体等

隣接市町村
市民団体
NPO 等

策定 平成29年3月
編集 滝沢市 都市整備部 交通政策課 (滝沢市地域公共交通会議 事務局)
〒020-0692 岩手県滝沢市中鶴飼55
TEL:019-656-6550 FAX:019-684-2158